

グローバル・エマージング・ボンド・オープン

愛称：受取物語

追加型投信／海外／債券 特化型

作成対象期間：2021年11月11日～2022年5月10日

第 280 期 決算日：2021年12月10日 第 283 期 決算日：2022年3月10日

第 281 期 決算日：2022年1月11日 第 284 期 決算日：2022年4月11日

第 282 期 決算日：2022年2月10日 第 285 期 決算日：2022年5月10日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第285期末（2022年5月10日）

基準価額 6,083円

純資産総額 13,463百万円

第280期～第285期

騰落率 - 0.2%

分配金合計(*) 60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第280期～第285期：2021年11月11日～2022年5月10日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第280期首	6,158円
第285期末	6,083円
既払分配金	60円
騰落率	-0.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国金利が上昇したこと、エマージング債券市況が下落したこと、信託報酬などが基準価額の下落要因となりました。

2021年11月11日～2022年5月10日

1万口当たりの費用明細

項目	第280期～第285期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	50	0.830	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(30)	(0.495)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.281)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.015	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	51	0.845	

作成期中の平均基準価額は、6,057円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

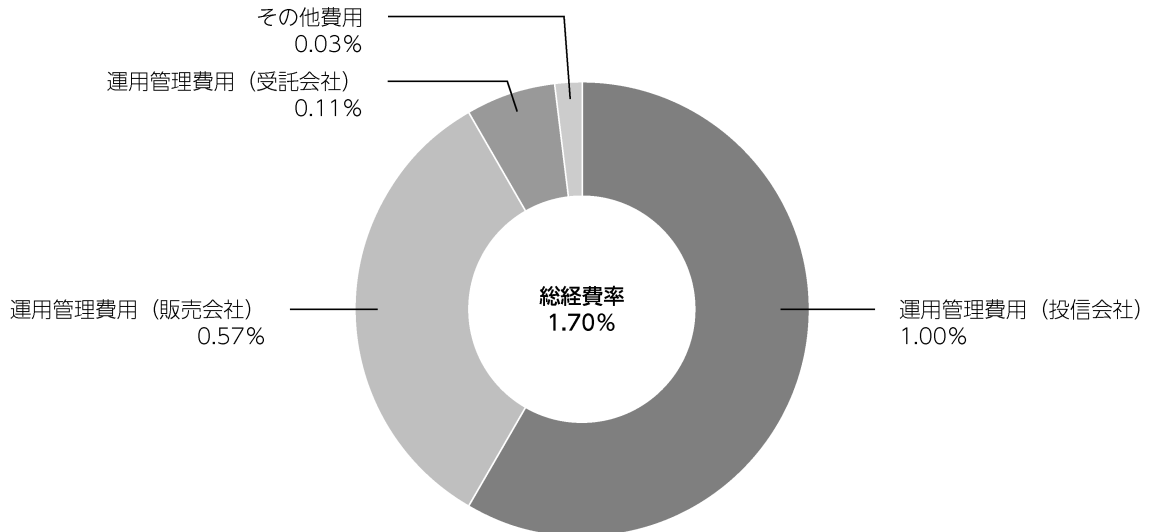
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

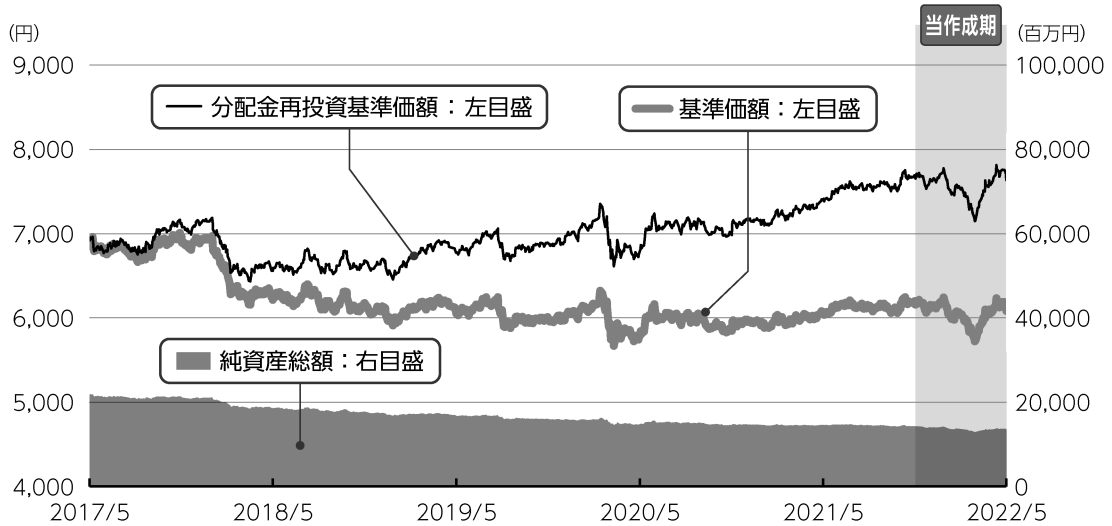
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年5月10日～2022年5月10日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2017年5月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/5/10 期初	2018/5/10 決算日	2019/5/10 決算日	2020/5/11 決算日	2021/5/10 決算日	2022/5/10 決算日
基準価額 (円)	6,921	6,215	6,051	5,801	6,050	6,083
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	360	290	240	160
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-5.2	3.2	0.6	8.6	3.2
純資産総額 (百万円)	21,794	18,503	16,749	14,787	14,558	13,463

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第280期～第285期：2021年11月11日～2022年5月10日

投資環境について

▶ 債券市況

エマージング債券市場は下落しました。
当作成期のエマージング債券市場は、米国金利の上昇やロシアによるウクライナ侵攻や西欧諸国によるロシアへの経済制裁などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、下落しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で上昇しました。
当作成期は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融政策正常化などから日米短期金利差が拡大したことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

資産配分

米国国債のほか、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の国債を中心に運用しました。

国別配分等

当作成期では、米国国債の組入比率を引き上げた他、ロシア国債とウクライナ国債を全売却しました。

金利戦略

デュレーションについては、当作成期を通じて、機動的に水準を調整しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第280期 2021年11月11日~ 2021年12月10日	第281期 2021年12月11日~ 2022年1月11日	第282期 2022年1月12日~ 2022年2月10日	第283期 2022年2月11日~ 2022年3月10日	第284期 2022年3月11日~ 2022年4月11日	第285期 2022年4月12日~ 2022年5月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 (0.163%)	10 (0.163%)	10 (0.165%)	10 (0.174%)	10 (0.165%)	10 (0.164%)
当期の収益	9	9	9	9	10	10
当期の収益以外	0	0	0	0	-	-
翌期繰越分配対象額	1,318	1,318	1,317	1,317	1,326	1,331

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

グローバル金融市場の見通しは、経済成長期待の急激な悪化、インフレ圧力の高まり、世界的な流動性の引き締め、地政学的リスクの高まりにより、依然として不透明な状況にあります。ロシアによるウクライナ侵攻と西側諸国による制裁強化は、世界のエネルギー・食糧の安全保障、グローバルな資本循環、直接投資とポートフォリオの資金フローという3点において世界的な脆弱性を浮き彫りにしました。これらはグローバル経済および貿易活動に長期的な影響を与えることになるでしょう。なお、世界的な貿易戦争と新型コロナウイルス感染拡大対策として実施された非常に緩和的な政策が、グローバルのインフレに対して構造的な変化を既に引き起こしていた

との見方を以前より維持しています。そして、ロシアによるウクライナ侵攻はこのレジームチェンジをさらに加速させたと考えます。現在の経済および地政学的状況は、信頼できる制度的枠組みを有し、バリュエーションが魅力的で、かつ流動性が十分なコモディティ輸出国にとって好環境だと考えます。

このような環境下、エマージング債券市場において比較的信用力が高いと考える国の債券を中心に、米国国債も一部組み入れて運用する方針です。一方でバリュエーション面で投資妙味があると判断した債券については、市場動向を見極めながら新規組み入れや組入比率の引き上げを検討します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

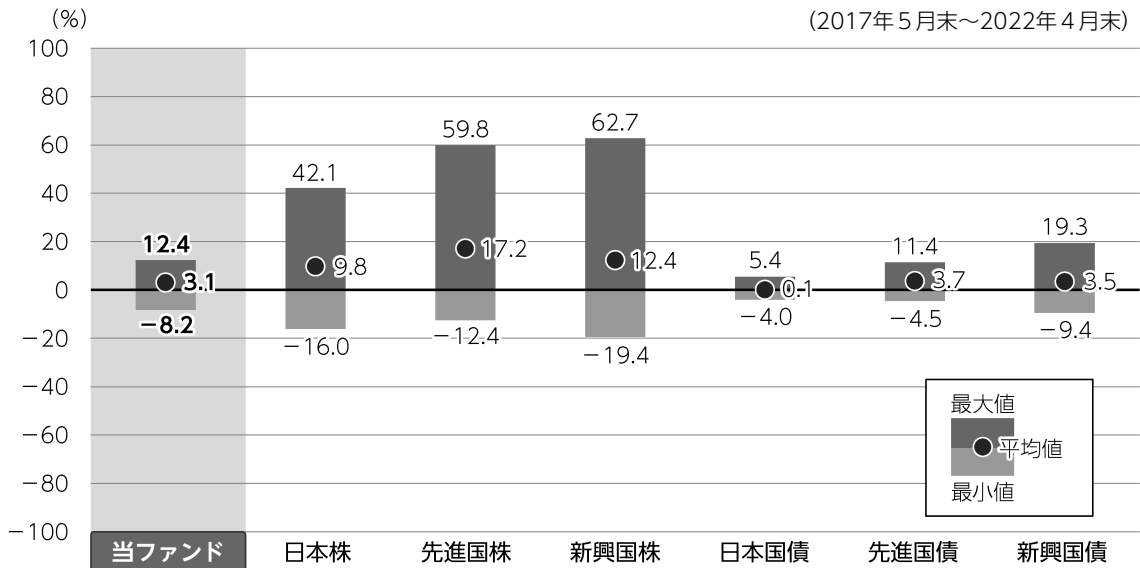
商品分類	追加型投信／海外／債券 特化型
信託期間	2023年7月10日まで（1998年7月31日設定）
運用方針	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、分散投資を行います。各国のファンダメンタルズ分析とクレジット・リスク分析に基づく銘柄選定を基本とします。機動的に米回国債にシフトすることによって、パフォーマンスの安定性を高めます。原則として外貨建資産については為替ヘッジを行いません。運用の指図に関する権限は、シュロージャー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託します。
主要投資対象	米ドル建てエマージング・カントリー公社債を主要投資対象とします。
運用方法	新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債を主要投資対象とし、長期的な高水準の利子等収益の確保と売買益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。

◆ファンドは、新興経済国等が発行する相対的に高利回りの米ドル建公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象としております。エマージング・カントリー公社債には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄にデフォルト等の発生があった場合には、大きな損失が発生することがあります。

* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年5月から2022年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年5月10日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：37銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	0.625 T-NOTE 260731	債券	アメリカ	国債	9.9
2	0.5 T-NOTE 260228	債券	アメリカ	国債	7.6
3	4.5 BRAZIL 290530	債券	ブラジル	国債	6.8
4	4.5 MEXICO 290422	債券	メキシコ	国債	6.4
5	3.75 MEXICO 280111	債券	メキシコ	国債	5.3
6	1.875 T-NOTE 270228	債券	アメリカ	国債	5.3
7	2.85 INDONESIA 300214	債券	インドネシア	国債	5.0
8	1.875 T-NOTE 320215	債券	アメリカ	国債	4.5
9	5.875 REPUBLIC OF 250916	債券	南アフリカ	国債	3.7
10	4.85 SOUTH AFRICA 270927	債券	南アフリカ	国債	3.3

※比率は純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

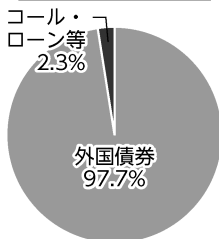
純資産等

項目		第280期末 2021年12月10日	第281期末 2022年1月11日	第282期末 2022年2月10日	第283期末 2022年3月10日	第284期末 2022年4月11日	第285期末 2022年5月10日
純資産総額	(円)	14,007,929,891	13,907,859,451	13,640,419,101	12,921,616,746	13,515,869,467	13,463,918,934
受益権口数	(口)	22,870,842,142	22,724,433,014	22,575,983,781	22,492,175,511	22,272,842,576	22,135,476,264
1万口当たり基準価額	(円)	6,125	6,120	6,042	5,745	6,068	6,083

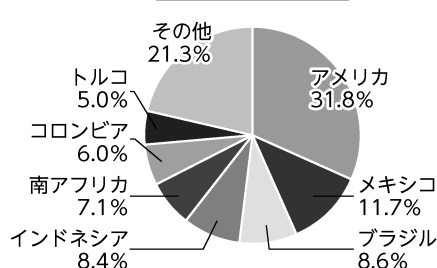
※当作成期間中（第280期～第285期）において追加設定元本は15,458,648円
同解約元本は 943,349,647円です。

種別構成等

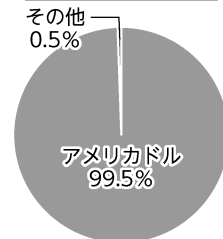
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信